

テーマ 教育の質を高めるチーム学悠館 **強みを活かして「変わる自分、変える未来。チャレンジ学悠館！」**

本年度の目指す生徒の姿

- 夢や希望を抱いて未来を描き、その実現にチャレンジする生徒
- 自分の能力に気づき、**主体的**・自律的な学びに真摯に取り組む生徒
- 多様な価値観を尊重して他者と協同し、共に成長する生徒



取組の視点

- よりよく生きるための資源となる健やかな心と身体を育てる
- 生徒の**強みや可能性**を引き出し、**主体的**・自律的な行動につなげる
- 諸活動の中で、仲間を信頼したり、貢献したりすることのできる豊かな感性を育てる
- 過去3年間の取り組みを総括し、諸活動の意味づけを再確認する
- 優先順位、スクラップ&ビルドを意識する

努力点	学校自己評価				学校関係者評価
	本年度の具体的方策	評価指標	評価結果	次年度以降への改善策	
主体的に参加する学習活動	面接指導やHRで「学習状況・特別活動出席確認一覧表」の活用を促し、記入確認や意欲喚起を行う。	表を活用できた生徒数が、昨年度より増加したA、昨年度同様であったB、昨年度より減少したC	B	B	学習状況一覧表などを、コレスポンド通信に載せるなど、生徒に分かり易いアナウンスを行う。家庭への学習支援は継続して行っていく。
	定期的に家庭に送付する「学習状況通知」を分かりやすく注意を引く書面にし、家庭での学習支援に役立ててもらおう。	保護者アンケートにより「学校からの通知は分かりやすかった、支援に役立てられた」の割合が70%以上A、60%以上B、60%未満C	A		
キャリア発達・進路実現を促す活動	個に応じたキャリア発達の支援を十分に可能にするホームルーム活動を計画・実施する。	ホームルーム活動の実施が、十分にできたA、概ねできたB、不十分C	B	B	ホームルームでの活動もコレスポンド通信に載せるなど、積極的にアピールする。ホームルームでの一人一検定一応募を指導する。
	各種コンクールや検定試験について、有用度や重要度が伝わる工夫を行い、積極的な参加や挑戦を促す。	コンクール・検定試験等への応募者受験者が、昨年度より増加したA、昨年度とほぼ同じだったB、昨年度より減少したC	A		
開かれた学校、地域との連携・協働	ホームページと学報等の連携を密にし、家庭や地域に向けた情報発信を積極的に行い、学校と家庭の連携を図れるようにする。	家庭との連携が、十分にできたA、概ねできたB、できなかったC	A	A	ホームページとコレスポンド通信とのリンクを増やし、生徒・課程・学校の連携強化を図る。ICTの積極的活用を図り、外部講師を活用するなど積極的に研修を行う。
	外部講師の招聘・活用を積極的に行い、面接指導、添削指導の充実を図り、さらに生徒向け・教員向けの各種行事の活発化を図る。	外部講師の活用が、積極的にできたA、おおそでできたB、あまりできなかったC	A		
体力の増進と健やかな成長	体育のサーキット・体育的行事で、ラジオ体操を継続的に指導する。	生徒にアンケートを実施する。ア)十分にできた。イ)ある程度できた。ロ)できなかった。ア)＋イ)が80%以上ならA、80%未満50%以上ならB、50%未満ならC。	A	A	今後も継続していく。特に体育の授業での活用を更に積極的に進める。
豊かな人間性・社会性の育成	学校行事や生徒会活動、クリーン運動等への積極的参加を促し、学校での活動を積極的に体験させる。	教員の生徒への呼びかけが、十分にできたA、概ねできたB、できなかったC	B	B	通信機器を利用した資源を活用できるようにし、リモートによる各種行事のあり方を探る。同窓生との交流など外部の資源も、リモートによる活用ができるようにする。
	同窓生に学校行事への参加を依頼し、生徒が同窓生との交流を深める機会を設ける。	生徒アンケートにより、「満足した」の割合が、70%以上A、60%以上B、60%未満C	B		
安全安心な学校生活の提供	スクールカウンセラーと連携し、教員間の共通理解を深め、生徒の指導に生かす。	学校評価の回答で、A+Bが生徒・保護者とも60%以上ならA、生徒・保護者のどちらかが60%以上ならB、どちらも60%未満ならC。	A	A	より一層のSCとの連携をはかり、生徒の支援、指導に活かす。

学校関係者評価
適切な指導が行われているが、今後はNHK高校講座の更なる活用や、リモートによる学習活動などを取り入れることで、生徒が学習に参加しやすい環境を整えていってほしい。
進路実現のための様々な取組が行われているが、今後も個々の生徒のキャリア発達促す工夫・改善を続けていってほしい。
今年度はホームページ等に加えYouTubeチャンネルも開設し、開かれた学校づくりに努めている。今後もICTの活用を進めていってほしい。
個々の生徒に対し健やかな成長を意識した取組が実施されている。コロナ禍の中で、生徒の健康に対する意識の高揚を図るような指導にも積極的に取り組んでほしい。
適切な指導が行われているが、今後はリモートによる各種活動への参加であっても、つながりを実感し自信が持てるような取組を工夫してほしい。
個々の生徒の情報交換やスクールカウンセラーとの連携が適切に行われている。また、コロナ対策のアンケート調査でも高評価を得ており、今後も安全安心な学校づくりに励んでほしい。